

このページは読み上げ機能に一部対応していない場合があります。
ご不明な点につきましては、直接学校までお問い合わせください。

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

千葉県八千代市		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
八千代市立大和田南小学校	八千代市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
八千代市立大和田南小学校	https://www.yachiyo.ed.jp/edainan/gaiyo/hyouka/	

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

第1学年34時間、第2学年35時間の特別な教育課程「言語活動科」を編成した。

第1学年は、国語科から10時間、生活科から10時間、音楽科から14時間を「言語活動科」に充てる。

第2学年は、国語科から10時間、生活科から10時間、音楽科から15時間、「言語活動科」に充てる。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

学校教育目標「世界に生きる大南の子」を掲げ、3年前にユネスコスクールに加盟した。本校の児童は、明るくのびのびとしていること、また、世界とつながるためのツールとして英語は必須のものであることから、英語に慣れ親しみ、コミュニケーションの大切さを十分味わうことができるようにすることが大切であると考えた。

(3) 特例の適用開始日

平成25年4月1日

平成30年4月1日変更

令和3年4月1日変更

令和5年4月1日変更

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特記事項なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- (実施している)
(実施していない)

<特記事項>

学校ホームページ「大南ニュース」や「校長室より」、また学校だよりなどで積極的に情報発信を行っている。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本校の学校教育目標「世界に生きる大南の子」のもと、学校教育活動全てにおいて、自分自身やその回りのことだけでなく、大きく広がりのある考えをもてるよう学習を重ねている。また、本校はユネスコスクールとしてESDの推進を図り、子供たち自らが地球規模の課題を自分ごとと捉え、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出す素地を「言語活動科」によって育成することができている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学校教育法等で示された内容を踏まえ、以下のとおり、児童への教育上の配慮を実施した。

ア 外国語を用いて、コミュニケーションを図る楽しさを体験できるようにする。

イ 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気づけるようにする。

ウ 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることを知る。

エ 第1, 2学年では、音楽科の鑑賞「諸外国のわらべやあそびうた」「行進曲や踊りの音楽など身体反応の快さを感じ取りやすい音楽」「諸外国に伝わる民謡など」について、英語の歌のリスニングを行った。

オ 第3, 4学年では、総合的な学習の時間で扱う国際理解教育は、外国語活動での世界の食文や世界の国旗紹介などに関連付けて指導した。

5. 課題の改善のための取組の方向性

- ・多くの児童が「言語活動科」、「外国語活動」を楽しみながら学ぶことができた。

- ・ 学校評価アンケートでは、ユネスコスクールとしての取組について児童・保護者ともに高い満足度を得ている。1年生から「言語活動科」を設置し、英語に慣れ親しむことで、高学年での諸外国との交流にも生かされている。
- ・ A L T と学級担任が授業に向けて行う打ち合わせの時間確保が難しい。
- ・ 教職員の年齢層が若いことや入れ替わりが多い状況であることから、継続した研究となるよう、工夫や充実を図る必要がある。